



2023年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルハーツホールディングス
代表取締役社長 CEO 二宮 康真
代表者名 (コード番号：3676 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 CFO 伊丹 英人
(T E L : 0 3 - 3 3 7 3 - 0 0 8 1)

当社の連結子会社である株式会社 AGEST の株式分配型スピンオフの準備開始 及び上場準備の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社 AGEST（以下、「AGEST」）の全株式を現物配当により当社株主に分配すること（以下、「本スピンオフ」）の準備を開始するとともに、AGEST 株式の上場準備を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、本スピンオフに合わせ、エンタープライズ事業を営む当社の連結子会社を AGEST の子会社とするグループ組織再編（以下、本スピンオフ及び AGEST 株式の上場並びにグループ組織再編を合わせて「本スピンオフ上場」）を行う予定である旨、併せてお知らせいたします。

記

1. 本スピンオフ上場の目的及び理由

当社は、2017 年以降、創業事業であるエンターテインメント事業の安定成長の下支えのもと、第二の収益の柱を育てるべく、エンタープライズ事業の拡大に注力してまいりました。これまで、エンタープライズ事業において、エンジニア増強やサービスの拡充、M&A の積極活用等に対する積極的な投資を行うとともに、2022 年 4 月には中核企業である AGEST を新たに組成し、Tech 企業としてのブランド確立や QA (Quality Assurance) 技術の追求等に取り組んでまいりました。その結果、同事業の売上高は 200 億円が視野に入るほどにまで急拡大するとともに、投資を継続しながらも安定的に利益を創出するなど、確実に第二の収益の柱へと成長させることができました。その一方、昨今ではアジャイル開発の普及拡大等により、ソフトウェア開発の環境及び体制が変化しており、当社への期待も、単なるテストの実行から、テスト自動化といった先端技術の活用や QA 専門家としての開発上流工程からの総合的な品質向上にまで拡大・高度化しております。このため、今後当社がグローバル No. 1 の QA カンパニーとなるためには、ソフトウェア開発の知見と高度なテストノウハウを両方有する“次世代 QA エンジニア”をはじめとする人的資本への継続投資や、変化の早い技術に迅速に対応するための技術投資、さらには、これらの人的資本・技術力強化のスピードを加速させるための M&A の積極実施等を従来以上にスピード感を持って実行していくことが必要不可欠となっています。

さらに、安定的な成長を継続してきたエンターテインメント事業においても、ゲームの世界同時展開が主流となりつつあることに加え、動画配信や Webtoon 等の新たなエンターテインメントコンテンツの拡大、ChatGPT といった技術革新等、市場環境が大きく変化しており、同事業を成長軌道へと再転換できるチャンスが拡大しています。これらのチャンスを確実なものへとするためには、エンターテインメント事業においても、市場環境の変化に即した既存事業の進化や、アジアのみならず欧米も視野に入れたグローバル事業の拡大、新たなビジネスチャンスへの挑戦等に積極的に取り組んでいくことが求められています。

このように、異なるビジネスモデル・異なる専門的知見を要する両事業それぞれにおいて持続的な成長を実現していくためには、それぞれが独立した上場企業グループとして、迅速な経営判断のもと経営リソースを集中投

下するとともに、それぞれの分野に特化した企業ブランディング、事業基盤構築、技術追求等を行っていくことが極めて重要であると判断し、この度、本スピンオフ上場に向けた準備を開始することといたしました。

本スピンオフは、2017年度の税制改正により、株式分配を実施する法人の譲渡損益や分配を受ける株主への配当に対する非課税措置並びに株主の譲渡損益課税の繰り延べ措置が創設された株式分配型のスピンオフを利用することで、当社の株主に対して当社の連結子会社である AGEST 株式を現物配当により交付するものです。本スピンオフは、AGEST の企業価値向上や資金調達の可能性、株主の皆様への売買機会の確保といった様々な観点から、AGEST 株式の株式会社東京証券取引所（以下、「東証」）への上場を前提としております。そのため、本スピンオフ実施前に東証に新規上場申請を行うことを想定しており、東証の上場承認を得られること等を本スピンオフの条件とします。一方、当社株式の東証における上場は、本スピンオフ後も維持される予定であり、当社の株主の皆様は、本スピンオフの結果、当社株式と AGEST 株式という 2 銘柄の上場株式を保有することになります。また、本スピンオフに合わせ、LOGIGEAR CORPORATION をはじめとするエンタープライズ事業を営む当社の連結子会社を AGEST の子会社とするグループ組織再編を予定しており、本スピンオフ上場の結果、AGEST 及びエンタープライズ関連企業は当社の連結子会社ではなくなり、当社とは資本関係のない独立した上場会社グループとなる予定です。

2. 本スピンオフ上場の当事会社の概要

(1) 名 称	株式会社 AGEST
(2) 所 在 地	東京都新宿区西新宿三丁目 20 番 2 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 二宮 康真
(4) 事 業 内 容	ソフトウェアテスト、セキュリティサービス、システムの受託開発等
(5) 資 本 金	100 百万円
(6) 設 立 年 月 日	2018 年 2 月 28 日
(7) 発 行 済 株 式 数	57,000 株
(8) 大株主及び持株比率	株式会社デジタルハーツホールディングス 100%

3. 今後の見通し

本スピンオフ上場の実行時期等詳細は未定であり、準備過程における検討の結果次第では本スピンオフ上場を行わない可能性もあります。

今後、本スピンオフ上場について当社グループ業績への影響を含め、開示すべき事由が発生した際には速やかに開示いたします。

以 上